

令和5年度 米子市福市考古資料館事業報告書

1 管理業務の実施状況

1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供

- (1) 米子市などの考古資料を展示する常設展や企画展を開催し、原始・古代への関心を高めた。常設展は随時入れ替えを行い、展示の充実を図った。
- (2) 発掘調査速報コーナーを設け、原始・古代への関心を高めた。
- (3) 見て・触れて・作る体験教室や出前講座などを通して、古代への興味・関心を深めた。

2 施設の良い管理

- (1) 日々の施設設備の点検と清掃を行い、良好な施設環境の維持管理に努めた。
- (2) 前庭の植木や危険木の剪定、伐採、花壇の整備を行い、環境美化を図った。

3 利用者サービスの向上

- (1) 来館者へ勾玉作り、火起こし、弓矢体験を提供した。
- (2) 来館者へ考古資料の拓本体験の提供を図った。
- (3) 考古学関係図書を配架し、学習利用に提供した。

4 情報の発信

- (1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。
- (2) 施設のホームページで施設や行事の情報、遺跡紹介を行った。
- (3) 「米子市福市考古資料館通信」を年4回発行し情報提供に努めた。
- (4) 解説チラシを展示室に配置し、展示解説に努めた。

5 連携事業の促進

- (1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。
- (2) なかよし学級など学校との連携を図った。
- (3) 山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、米子市との連携を図った。

2 事業の実施状況

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
鑑賞事業			
常設展 「米子の原始・古代」	通 年	2,486	米子市内の遺跡から出土した、代表的な考古資料や写真パネルを展示し、小学生から大人まで、幅広く原始・古代を中心とした米子の歴史を学習する機会を提供した。
企画展1 「米子城跡の発掘調査の最新成果と今後の史跡整備」	5月24日(水) ～ 8月28日(月)	483	三の丸の発掘調査の成果を中心に、新たな米子城跡の姿を紹介するため、検出した遺構の写真パネルや出土遺物を展示した。
企画展2 「尾高城跡の発掘調査の成果」 －土の城から石の城へ－	10月14日(土) ～ 2月12日(月)	678	これまでの尾高城跡の姿が一変する新たな発掘調査成果を速報するため、検出した遺構の写真パネルや出土遺物を展示した。
企画展3 「米子の考古名宝展」	2月14日(水) ～ 3月31日(日)	323	米子市が所蔵する考古資料の中から資料を厳選し紹介した。
教育普及事業			
出前講座 「勾玉づくり」	5月27日(土)	60	UAゼンセン中国ブロックのセミナーで「勾玉づくり」の出前講座を行った。
出前講座 「古代体験」	7月25日(火) ～ 8月7日(月)	345	勾玉づくり等の古代体験をなかよし学級で実施し、子供達へ体験学習を提供した。
出前講座 「勾玉づくり」「拓本・弓矢体験」	7月26日(水) ～ 8月2日(水)	19	PAJA学童保育に「勾玉づくり」と「拓本・弓矢体験」の出前講座を行った。
出前講座 「勾玉づくり」	8月17日(木)	21	ペアーレキッズスタジアム学童保育に「勾玉づくり」の出前講座を行った。
考古学教室 「本物の土器や石器にさわってみよう！」	3月16日(土)	0	本物の土器や石器に触れ、弓矢体験を実施する。参加者がいなかったため未実施。
「古代体験」 勾玉づくり、火起こし、弓矢体験	通年	-	勾玉づくり、火起こし、弓矢の古代体験を希望した来館者等へ提供した。
情報提供事業			
米子市福市考古資料館通信の発行	年4回	-	福市考古資料館や史跡福市遺跡のイベント情報の提供や展示品の紹介等を行った。
刊行物の制作・発行	3月	-	埋蔵文化財センター・福市考古資料館の年報を発刊した。
ホームページ	通 年	-	ホームページを更新し、施設イベント情報や資料館通信を提供した。
図書等の販売	通 年	-	『よなご大昔物語』や米子城ペーパークラブ、勾玉の材料等を販売した。
入場者・参加者数合計(人)		4,415	

3 施設の利用状況

開館日数 296日

入館者数 3,970人（企画展を含む） 自主事業参加者数 445人 合計 4,415人

4 収入実績

項目	収入額(円)	備考
事業収入	43,400	自主事業資料・材料代
雑収入	50,623	冊子売捌、自販機電気代等
合計	94,023	